

平成24年度日本赤十字放射線技師学術総会開催報告

日本赤十字放射線技師会
学術担当理事 安彦 茂

平成24年5月31日(木)、6月1日(金)に東京国際フォーラム ホールD-5において、会員118名の出席の元、平成24年度日本赤十字放射線技師学術総会が開催されました。

この学術総会は、学術的な視野に特化せず、経営観念、臨床技術の向上、チーム医療の重要性、災害・国際医療派遣など、赤十字ならではの幅広い内容で会員の資質向上を目指して毎年開催されておりますが、昨年は震災の影響により中止を余儀なくされ、2年ぶりの開催となりました。

本社講演では、赤十字病院を取り巻く医療環境の現状と今後の課題について、俯瞰的かつ主観的に講演され、日頃経営にあまり関心がない会員も興味深く傾聴いたしました。特別講演では東日本大震災での現場の状況・対応について、生の声を聞き、教育講演ではチーム医療を担うための重要なポイントについて、分かりやすく講演していただきました。会員研究発表においては、11演題に対し、活発な質疑応答がなされました。すべてのプログラムを通じて赤十字放射線技師らしい臨床に直結する学術的な討論が展開され、会員相互の交流がなされた2日間でした。同時に開催された定期総会は、会員の協力を得て無事に終了致しました。

本社講演「赤十字病院の現状と課題」 医療事業部 次長 飯嶋 喜史 様

特別講演「東日本大震災における石巻赤十字病院の対応」

石巻赤十字病院 第1放射線技術課長 及川 順一 様

教育講演「チーム医療におけるノンテクニカルスキルの重要性」

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長・病院教授 中島 和江 様

会員研究発表

第一部(4演題) 座長 宇田 暢樹 氏(小川)

第二部(3演題) 座長 加藤 秀之 氏(松江)

第三部(4演題) 座長 細川 博明 氏(松山)

* 会員研究発表 最優秀賞・優秀賞受賞者

最優秀発表賞:「手指の撮像における自作 Sat Pad の検討」 松山赤十字病院 高橋 奈津樹様が選ばれました。また、優秀発表賞は、深谷赤十字病院 富田 欣治様と武蔵野赤十字病院 藤岡 由紀様のお二人が選ばれました。

分科会報告

災害医療 駒井 一洋 氏(名古屋第二) 坂井 征一郎 氏(唐津) 森 幹司 氏(長崎原爆)

CT 河本 勲則 氏(京都第二)

医療情報 加藤 秀之 氏(松江)